

蕨市立図書館と埼玉県立蕨高等学校との連携事業について

1. 事業の目的

蕨市立図書館では、子供からお年寄りまで幅広い世代の異なるニーズそれぞれに応えられるよう、様々な分野の資料について収集に取り組んでいる。

その中で、中学生・高校生のいわゆるヤングアダルト（YA）世代については、子供から大人に変わっていく多感な時期であることから、読書を通じて心の成長の後押しとなるようYAコーナーを設けている。

YAコーナーに置く本の選書にあたって、各種書評やWebの情報を参考にするほか、埼玉県立蕨高等学校の図書館司書と情報交換を行うなど連携を図ってきたが、今回はその連携を一步進めて、蕨市立図書館内で蕨高校図書委員のおすすめ本を展示することとなった。

YA世代の読書活動推進の一環として、現役高校生の目線で本を選び、同世代に向けた推薦文を添えることによって、より多くの中高生の関心を得て本に触れてもらうことを目的として、蕨高校図書委員おすすめ本コーナーを設ける。

2. 事業の概要

埼玉県立蕨高等学校生徒の図書委員におすすめ本を選定し、推薦文を記載したポップを作成してもらい、蕨市立図書館内に特設コーナーを設置する。

3. 特設コーナー期間

令和4年1月29日（土）～5月31日（火）

※その後も定期的におすすめ本を更新していきながら特設コーナーを継続していきたい。

4. 特設コーナー設置場所

蕨市立図書館1階窓際雑誌架の上

5. おすすめ本の数

18冊

それぞれの本に推薦のポップを添えて展示する

6. その他

1月28日（金）午後4時に蕨高校の教職員2名、図書委員の生徒3名が蕨市立図書館に来館し、特設コーナーを設営した。

当日は、蕨市の秘書広報課、ケーブルテレビウインク、及び朝日新聞社も取材のため来館。

1月30日付け朝日新聞の埼玉版に掲載。

2月11日～17日、ウインクチャンネルのハローわらび「タウンタウンワイド」コーナーにて放送。

広報蕨の令和4年3月号に掲載。